

アーバンシステム環境通信

NO.5

2006年07月14日

笑いと涙の環境落語、大盛況

赤坂スーパー環境落語実行委員会は、スーパー環境落語、古典落語、環境ミニトークなど催しからなるチャリティ寄席を7月8日(土)赤坂区民センター区民ホールで開催した。400席の前売りチケットは完売し、当日も立ち見が出るほどの盛況であった。スーパー環境落語とは、三遊亭京楽が古典落語で鍛えた話芸に映像、音楽等の演出を加え、環境意識を高め



ることを目的とした創作落語である。今回の新作「大江戸区エコツアー2030年」は、会場は終始笑い声が途絶えなかったが、クライマックスの歌の部分では、一転、感動ですすり泣く声が多く聞かれた。赤坂スーパー環境落語実行委員会実行委員長田宮嘉一氏は、物語全体の問いかけに対する答えとして「自分一人だけでは生きられない、だから環境問題にも少しだけでも取り組もう」というメッセージが歌という演出でストレートに伝わったのではないかとしている。



スーパー環境落語の他には環境ミニトークも好評を博した。木挽衆議院議員とエスプラナード赤坂商店街振興組合城所理事長による掃除をテーマとしたウイットのきいたトークが会場に心地よく受け入れられた。

「消すな小さな灯火を」 作詞/作曲 宇野久実

♪君と誓おう守りゆくことを 過去をひざまずけた 胸の痛まない夜
自分のことだけを考えてきた 時代はもう、過去のものだ
僕はもう迷わない 便利のまやかしを捨てよう
溢れるものはヒトを駄目にする。 本当のくらしを作るんだ
君は泣いていたね 出来ないモノが怖いと 家も服も何もかもが
形を変えちゃうことに
僕は思ったんだ 出来る事って何だろう わずかな行動なんだ
力はちっちゃいけれど
自分だけ生きてるんじゃない 廻りをさー見ーてごらんー
僕は歩き始めるよー この地球を守るために
消すな小さな灯火を 君の涙は無駄にはしない
消すな小さな灯火を 君の命は無駄にはしな一ー♪



〔記者〕 井上 武